

平成 23 年 9 月 27 日

先端医学研究推進支援センター支援部門
総合分析実験センター機器分析部門
寺東宏明

ジェネティックアナライザー利用料金改訂の根拠について

旧利用者会経費（医学部長裁量経費）400 万円の支出内訳は、概算で以下のようになっています。

| | |
|----------------------------|--------|
| FACS Calibur S3 年間保守経費 | 140 万円 |
| 共焦点レーザー顕微鏡保守経費 | 100 万円 |
| パーテック年間ライセンス（Genechip 解析用） | 40 万円 |
| DNA シークエンサー消耗品費 | 120 万円 |
| 合計 | 400 万円 |

現状では FACS Calibur 利用者へ手厚い資金援助状況ですが、これは保守経費で圧縮することが出来ません。共焦点レーザー顕微鏡の保守経費も同様に圧縮不可能です。そこで、Genechip と DNA シークエンサーユーザーの公平性を保つために、以下のような配分案が考えられます。

| | |
|------------------------|--------|
| FACS Calibur S3 年間保守経費 | 140 万円 |
| 共焦点レーザー顕微鏡保守経費 | 100 万円 |
| パーテック含む Genechip 利用支援 | 80 万円 |
| DNA シークエンサー消耗品費 | 80 万円 |

これにより、パーテック分を差し引いた 40 万円を Genechip 消耗品費として計上し、Genechip 利用料金への補填を行います。こうすると DNA シークエンサー利用料を値上げする必要があります。DNA シークエンサー消耗品にかかる年間費用は概算で 200 万円です。このうち 80 万円が受益者負担だったのが 120 万円に上がりますので、現状 1 run で 100 円を、その 1.5 倍である 1 run で 150 円という単価となります。

尚、他大学等の利用料金は以下のようになっています（いずれも DNA シークエンサー利用料：1 サンプルあたり金額）。

| | |
|----------------------------------|-------|
| 本学総合分析実験センター本庄 | 300 円 |
| 高知大学総合研究センター実験実習機器施設 | 250 円 |
| 宮崎大学フロンティア科学実験総合センター実験支援部門遺伝資源分野 | 200 円 |
| 大分大学総合科学研究支援センター実験実習機器部門 | 350 円 |
| 山形大学遺伝子実験施設 | 350 円 |